



写真等無断転載禁止

千葉市下大和田谷津の植物調査記録

「2022年6月～2023年5月」

千葉市緑区 芳我 めぐみ

千葉市緑区下大和田町の谷津を一年間にわたり植物調査を行った。

調査日は2022年6/9 7/7 8/11 9/8 10/14
11/10 12/8 2023年1/12 2/9 3/9 4/13 5/11
計12回行った。観察時間は10:00～15:00を基本に行なった(図1)。

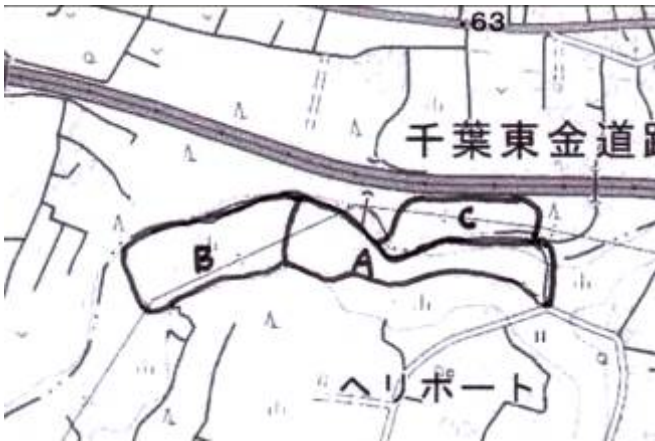


図1 調査区域図

この地は鹿島川の支流が流れ、舌状台地に挟まれた谷津に耕作放棄地もあるが自然条件を利用した水田耕作が行われている。明治時代の地形図と現在の地形図を比較しても地形の改変はほとんど行われず、地形を利用した自然の原風景が見られ豊かな自然環境にあると認識される(図2)。

調査地域は水田耕作が行われている地域と接続する道路脇を含めA地区、耕作が行われなくなった湿地をB地区、谷津田北側斜面(南向き)と台地をC地区に分けてそれぞれ観察した植物を記録した(図1)。記録した種数は重複なしで493種。現地で同定不可や怪しいものに関しては採集して千葉県立千葉中央博物館の天野先生に同定をお願いした。また科名は新エングレー体系を基に記した。素人には同定が難しいシダ類、イネ科、カヤツリグサ科については解る範囲のものだけを記録したので実際にはもっと多くの種が生育していると思う。

千葉市に残る数少ない谷津田の中でも下大和田

の地区の特徴として水の豊富さがあげられる。田んぼの脇を鹿島川へそそぐ支流が流れ、その小川が田んぼと繋がっている場所がある。メダカが小川と田んぼを行き来している情景は千葉市内のほとんどの谷津田では失われてしまっている。田んぼの中に湧水が見られ自噴も確認できた。この豊かな水は周囲の山林、湿地なしには湧き出てこない。トチカガミ、サンショウモ、ミズニラが見られるのも湿地と農業を使用しない米作りが永年続いてきたお蔭だと思う。ヌマトラノオ、オオミゾソバ、カズノコグサ、ホソバノヨツバムグラ… 私が観察記録を付けている千葉市内の他の谷津田では見られない。下大和田には谷津田の原風景と共に動植物が現在も濃密に生育していることが素晴らしい。

2019年の台風19号の被害は山林に大きな爪痕を残した。倒木が片づけられず未だに放置されている箇所がたくさんある。下大和田のC地区台地には高圧線の鉄塔が立っている。停電被害を防ぐため高圧線下の樹木は伐採され、強度の草刈りが行われたそう。この作業の影響で埋土種子から発芽したのだろうか、トモエソウ、オトギリソウが生育していた。

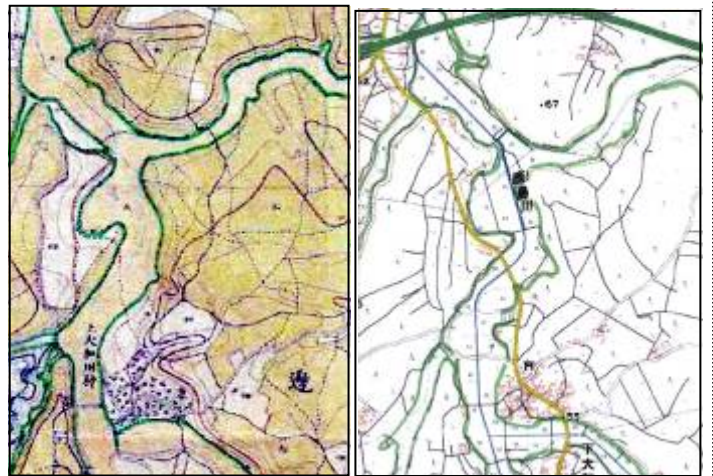


図2 下大和田地形図今(右)昔(左)

見事に花をつけ果実になり2023年にも多数の株が確認できた。草刈りが行われたことにより草原環境が出現したので今後楽しみだ。草原環境は公園にわずか見られるが自然環境下の千葉市内では珍し

い。ここに隣接する斜面林には明るさに応じ多種の草花が生育している。キンラン、シュンラン、ササバギンラン、エビネなどのラン科やヒトリシズカ、フタリシズカ…あったらいいなと思う種に出会えるのも楽しい。

南側斜面林、北向きの林縁には小川を挟んでカンアオイ、ツクバトリカブト、イヌガンソクなどが確認された。カンアオイは房総南部の地域では見られる。千葉市では昭和の森で見られるがその北側に当たる下大和田。これより北の北総台地では見たことがない。繁殖するのに非常に時間がかかる植物なので残っていること事態が貴重だと思う。コンパクトな地域にモザイク模様環境と、それに適した植物が多種生育できる下大和田の谷津は非常に重要な場所であることを再認識した。

下大和田谷津田で観察した種

*全記録：493種

*地区別出現数

A地区：373種 B地区：247種 C地区：241種

レッドリスト

環境省：絶滅危惧(VU)2種 準絶滅危惧(NT)5種

千葉県：重要保護B 1種 要保護C 2種

一般保護D 4種

千葉市：最重要保護A 9種 重要保護B 10種

B-C 1種 要保護C 19種

(レッドリスト環境省は2015年版 千葉県は2017年 千葉市は2004年発刊を参照)

調査参加者

岡田敬子 平井知子 芳我めぐみ

網代春男 小西由希子 田中正彦(下段3名はちば環境情報センター) 敬称略 50音順

お米にまつわるミャンマーの話 第8回 ～第2の都市マンダレーの隠れ名店のミーシェの味～ 後編

千葉市若葉区 岩沢 久美子

せっかくマンダレーまで来たので、この町で一番美味しいミーシェを食べたいねという話になりました。町の人気店は現地の人に訊くのが一番。そこで現地で借り上げたレンタカーの運転手に尋ねたところ、「よし、町一番美味しくて有名な店があるから連れてってあげよう」と嬉しそうに答えてくれました。運転手のその誇らしげな様子に私たちは間違いないと確信し、早速その有名店に連れて行ってもらうことになりました。

ところが、たどり着いた場所は、心細くなりそうな裏通りの一角にある車2台分ほどの道端のスペース。看板どころか、壁すらなく、かろうじてトタン屋根の雨よけで覆われたコンクリート打ちっばなしの床に低い木製のテーブルとプラスチック椅子が並んでいました。隣には路上に小さな屋台があり、

3名の店員が忙しそうに働いています。私はローカルなお店が好きなので、外国人に到底知り得ないお店に連れてきてもらってとても嬉しいのですが、それにしても町の人気店と言われてたどり着いたのがガレージのような店だったことには、さすがに一緒に来たミャンマー人の同僚も少し驚いたようでした。



小さな屋台を3人が忙しそうに切り盛りしている。

メニューはミーシェのみ



マンダレー・ミーシェ。

汁なし麺にはいつもスープが別についてくる。

とにかく勧められるまま、むっとする熱気の中でプラスチックの椅子に座り、ミーシェを2杯頼んで、据え置きポットに入ったぬるいジャスミン茶を飲みながら、やや居心地悪く待っていました。程なくして、お待ちかねのミーシェが運ばれてきました。汁なしの米粉麺の上に茹で鶏や薬味、唐辛子の赤いソースが載っていて、見かけは前回ご紹介したナン

ジートゥッに似ています。ですが食べてみると、ナンジートゥッのような油っ気は全くなく、ほのかな辛味、甘味と酸味のあるタレが絡めてあり、今まで食べたミャンマー料理とはまた一味違う、でもとても馴染みのある味でした。夏の暑い時期に食べる酸味のある汁なし麺といえば、そう、日本の冷やし中華によく似た味です。油気のない米粉麺とトッピングの茹で鳥さっぱりしていて、暑いマンダレーにぴ

ったりです。運転手が「町で一番美味しい店」と言っただけあり、小さな屋台にひっきりなしにお客が来ていて、食材も全て作りたてで新鮮です。無言で箸をすすめて、あっという間に付け合わせの漬物も含めて完食しました。またいつかマンダレーに行く機会があれば、是非ともあのミーシェを食べたいと思います。ただ、ガイドブックには到底載っていないので、見つけれられるかは運次第です。

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 「イオンマリンピア店」への登録のお知らせ

ちば環境情報センター 会計 高橋 久美子

【会員の皆様】

いつも会費納入や寄付へのご協力を賜りまして、ありがとうございます。

さて、この度イオンマリンピア店（JR 稲毛海岸駅前）での黄色いレシートキャンペーンにちば環境情報センターが登録されました。

毎月 11 日（イオンデー）に買い物をする時、黄色いレシートが発行されます。それを店内のボック

スに入れると、レシート金額の 1% がボックス名の団体に還元されるそうです。イオンの助成制度の 1 つです。

マリンピア店を利用される機会のある方は、11 日の黄色いレシートを「ちば環境情報センター」のボックスにレシートを入れてください。よろしくお願いいたします。

2023 年度 ちば環境情報センター総会のご報告

ちば環境情報センター 代表 小西 由希子

ながら、楽しく充実した一年にしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

6 月 10 日、千葉市民活動支援センター談話室にて 2023 年度総会が行われました。新型コロナウイルス感染症はまだ収束していませんが、昨年に引き続き今年も顔を合わせての開催になりました。正会員 41 名のうち、出席者 10 名、委任状 9 名、書面表決者 9 名の合計 28 名となり定足数 21 を超え、総会は成立しました。議長に南川忠男さん、議事録署名人に桜井健さんと小田信治さん、書記に長正子さんを選出し 1 号議案から 6 号議案までを審議しました。特に定款変更に関する第 6 号議案については活発な意見交換が行われ、一部修正を求められた部分もありましたが、議案は全て承認されました。本年度も新型コロナウイルス感染防止に努め



新浜の話 65 ～現場立ち会い～

千葉県野鳥の会 市川市 蓮尾 純子

再整備工事現場への最初のかかわりは、後に百合池・三島池と呼ぶことになる保護区東側に造成される二面の池の輪郭づけでした。このあたりのほとんどは、セイタカアワダチソウやススキが密生した草丈 2 メートルをこす草原です。おおむね海岸線に沿った形になる予定で、海岸線に沿って輪郭がざっと

見えるように草を刈るのですが、背丈よりずっと高い草の中、右も左も見えないやぶで、方角をとるのはたいへん。しっかり株立ちしたススキなど、背中から倒れ込み、体重をかけてお尻で踏み倒します。11 月のことで、こわい蜂は休眠中。ノイバラのとげに気をつけるだけで済みました。

スロマン³⁰

作: 7月
あきこ



このお話はユーチューブのあきこの話を ヒントに作りました。

踏み倒した跡をたどって草刈り機で見通し線をつけるのは大黒柱さん。草刈り機の扱いが下手な私は、どうがんばっても効率半分以下の上、予定地には親指くらいの太さしかない実生の桜がけっこうあって、誤って刈り倒した木も何本も。掘り上げてみなと池の土手に移植したのはこの時。今ではどの木もひとかかえ以上の大木に育ちました。

最初に重機が入ってきた時のこと。ためしに電柱ほどの太さがある丸太を下北岬の手前あたりで地面に立てて、重機で刺してみたところ、まるで豆腐に箸をさすように、何の抵抗もなくすうっと入ってしまったことには、業者さんも私たちも驚きました。「こんにやくに刺したみたいだ。本当に軟弱な地盤なんだね」丸太は5mくらいと思いますが、首元まであっさり土中に消えました。

工事が始まってからというもの、私は通常業務の野鳥病院の世話等々も嘉彪や他のスタッフに頼んで、もっぱら現場立ち会いへ。土木工事の現場はもちろん初めてなので、何を見ても面白くてたまりません。どんな造成工事も、道の確保が最初とか、作業の道すじを見て覚えたり、現場監督さんに教えていただいたり。発注者の千葉県と元請け業者さん、下請け業者さんと何段階もある指示系統で、食い違いがないようにちょっぴり調整したり、時には千葉県の担当者からの連絡を現場に届けることも。工事の様子を見て記録をとるのはもちろんですが、いちおう造成計画から手掛けているので、細かな指示を出させてもらうこともあり、やるべきお仕事はそれなりにありました。

こういう時、いい年のオバサンであることは強み。オジサンばかりの現場ではけっこうごひいきにさせていただき、大事にされて、得をしたかも。

実際に現場のお役に立つお手伝いもありました。岬などの造成工事中、できるだけ潮が低い状態にしておくために、真夜中などのいちばん潮が引いた時間を見計らって水門を閉め、次の干潮時にいったん開けて更に潮を下げ、潮が上がる前に閉めます。この操作で、通常よりも何十センチか潮を下げておくことができました。三番瀬に直接つながる暗渠水門は直径 1.8 メートルのパイプで、出入りする水量も限られていますが、幅 3メートルの千鳥水門は、たしか 30 万トンと見積もられた保護区の海水のうち 10 万トンほどが毎日出入りするとのこと。流入し流出する水量も半端ではありません。それでも水門は電動式なので、スイッチ一つで開閉できます。むずかしいのはタイミング。ざあざあ音を立てて勢いよく水門を流れる潮が、中と外の水位が等しくなった時にぴたっと止まります。そして、ほんの 2, 3 分後には反対方向に動き出し、10 分もたつとまた音を立てて流れます。

真夜中の潮待ちは、ダイナミックな海の呼吸、星のめぐりを肌で感じるひとときでした。眠気をがまんするだけの収穫はあります。「これもぜいたくのひとつかな?でも、寒い!」と、以前日本野鳥の会東京の会報「ユリカモメ」に連載していた「新浜だより」に書きました。

【発送お手伝いのお願い】ニュースレター2023年 8月号(第312号)の発送を 8月 7日(月) 10時から千葉市民活動支援センター会議室(千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館9階)にて おこなう予定です。ただし新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては中止する場合がありますので、お手伝いいただける方は事務局(小西 090-7941-7655)までご連絡ください。

あなたも入会しませんか キリトリセン

住所 〒 _____

ふりがな 氏名 _____ Tel _____ 携帯 _____

E-mail _____ FAX _____

会費の郵便振替口座は 00130-3-369499 です。

<小山町での活動>

☆6月期の活動 田植え、ほぼ順調に完了 報告：赤シャツ親父

6月2日、コシヒカリの田植え終了。以後古代米の田植えを進め、6月22日、全ての田植えが終了しました。6月半ばには真夏日となり、夏の訪れも早い様に感じます。草の処理、畦の整備に勤しみ稲の生長を応援します。

☆令和5年度期 あすみ小学校たんぼ田植え実施 2023年6月5日(月) 報告：赤シャツ親父

6月に入りすぐに、まとまった雨、風に見舞われましたが、当日は汗ばむ様な好天となりました。今期も100人超の児童と、大勢の保護者ボランティアさんが参加され、大変賑やかで活気にあふれた作業でした。熱中症やケガも無く、お仕事は捗り、広いたんぼには青々とした苗が整列しました。水の調整に神経を払いながら、大切に成長を見守ろうと思います。

☆第216回 小山町 YPP「古代米の田植え」 2023年6月10日(土) 報告：たんぼぼ

時折雨も降り、蒸し暑さも感じる曇天でした。今後の進行も考え、YPP たんぼの古代米の田植えは2日前の8日より開始、同日はその続きを実施しました。昼頃までかけて、半分程度まで田植えを終えることができました。

参加者3名(大人3名)

【谷津田・季節のたより】 2023年 6月

<下大和田町>

6/8 東屋に照明装置 6/18 をトモエソウが開花 6/28 緑米たんぼにヒシが広がる。

<小 山 町>

6/20 アカネの仲間羽化 (高山)

6/25 キイトトンボ、ショウジョウトンボ初観 (たんぼぼ)

6/26 キビダキ、ホトトギス、ウグイスの三重奏 (赤シャツ親父)

6/28 ねむの木開花 (たんぼぼ)

【イベントのお知らせ】 主 催：NPO法人 ちば環境情報センター

連絡先：小西 TEL.090-7941-7655 , E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

<下大和田谷津田>

・森と水辺の手入れ

日 時：2023年 7月16日(日) 9時45分～12時 雨天中止

内 容：森の散策路の整備をします。

持ち物：長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物

参加費：無料

・お楽しみ会

日 時：2023年 7月22日(土) 9時45分～12時

内 容：普段活動している谷津田で、魚採りやザリガニ釣り、フィールドビンゴなどを楽しみます。

持ち物：長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物

・第293回 下大和田YPP「かかしづくり」

日 時：2023年 8月5日(土) 9時45分～14時 雨天中止

内 容：竹を切り出し、たんぼの守り神のかかしを作ります。

持ち物：かかしに着せる古着、長袖長ズボンの服装、長靴、軍手、帽子、ゴミ袋、飲み物、弁当、敷物。

参加費：ちば環境情報センター会員以外300円、会員は無料(小学生以上)

・第283回 観察会とゴミ拾い「盛夏の谷津散策」

日 時：2023年 8月6日(日) 9時45分～12時 雨天決行

内 容：こども達の大好きなカブトムシやクワガタムシ、トンボやセミなど夏の虫の季節です。

持ち物：筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴(通常の)、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋

参加費：100円

<小山町谷津田>

▼第217回 小山町 YPP「畦と水路の整備」

田植えの終わったたんぼに水がうまく回るように水路と畦を整備します。

日 時：2023年7月15日(土) 10時00分～ ☆小雨実施。

場 所：りんどう広場

※ 一般の方の参加も若干名受付ます。

参加ご希望の方は、赤シャツ親父(e-mail:tomizo_i@nifty.com)までご連絡ください。

